



ちびくろ 保育園



●入園できる年齢
生後6ヶ月～5才児 就学までの
乳幼児をおあずかりします。

子供に自由を!安全な食べ物を!
ハンディキャップのある子どもとの共育を大切にしています。

ちびくろ保育園の保育時間

| | | | | | |
|------|------|------|-------|-------|-------|
| 7:00 | 7:30 | 8:00 | 17:30 | 18:00 | 18:30 |
| 延長保育 | 特例保育 | 通常保育 | 特例保育 | 延長保育 | |

[通常開所時間]・・・午前8:00～午後5:30
[特例保育時間]・・・午前7:30～8:00 午後5:30～6:00
[延長保育時間]・・・午前7:00～7:30 午後6:00～6:30

力を入れています

- ☆自由な遊びと空間
(創造力とたくましさ、思いやりが育つように)
- ☆安全な食べ物
(これからますます子どもたちには気を配る必要があります)
- ☆統合保育
(心身にハンディキャップのある方との共育「ともそだち」)
- ☆異年齢児保育
(年齢のちがう子が共に育つことは昔は当たり前のことでした)



子どもの未来を考えて いいもの食べよう!

給食の材料は、なるべく安全なものを使うよう心がけています。

- 米・野菜** 無農薬、有機農法のもの
伊川谷の農家の方がつくってくださっています。
- 調味料** 砂糖、塩、しょうゆ、酢、味噌、みりん、酒、ソース、ケチャップ等、日常使う調味料は出来るだけ安全なものを使用。化学調味料は使用しない。
- 牛乳・乳製品** よつ葉牛乳(パステライズ牛乳)
よつ葉の製品。
- 卵** 平飼いの卵です。
- 肉類** 神戸よつ葉会が扱っているものです。
ハム・ウインナーなどの加工品も無添加のもの。
- 豆腐** 天然にがり、無農薬国内産大豆使用のもの。



兵庫区松原通4丁目4-7
TEL (078)
651-6151
FAX (078) 652-2263

お気軽に
お電話下さい



夕涼み会(6月)

保育についてのQ&A

1.子どもが親に求めるものと、保母の子どもたちの愛情は同じですか

子どもが親に求めるものは古今東西不変です。親の子への優しいまなざし、愛情です。しかし、それは抽象的なものではなく、共に生活の中で伝わってゆくものです。毎日毎日の積み重ねです。保育園の職員たちも、親に負けない程の愛情をもって子どもたちに接します。しかし、保母はあくまでも他人です。子どもたちは、保育園に来て、他者とどう生きてゆくのかということから学びます。従って、けっこう緊張をしているのです。家に帰り、ホットして甘えたり、すねたりして、いやされ、また次の日、元気に保育園に登園出来るのです。親がしっかりとわが子を受けとめて下されば、保育園でも安定した気持ちで生活できます。保育園での生活と家での生活は質的に異なります。両方が大事です。



2.保育時間と子どもの育ちの関係はどう考えればよいのでしょうか

基本的には、子どもが小さい間は集団生活は短く、年齢と共に少しずつ増やす方が自然です。そうは言ってもなかなか、理想と現実とはピッタリいきません。仕事の都合で保育が長時間となる場合、保育園より帰って少しの時間でも意図的に時間をつくって遊んであげたり、だいてあげると互いに落着くものです。帰っていきなり仕事を始め、互いにイライラするのは得策ではありません。寝る前なども本など読んだり、お話をしあうことが精神的・肉体的に良いと思います。

3.早期の知的教育はどう思いますか

知的教育は7才以上からが望ましく、それまでは身体の中にある感覚器官が十分に発達し、それを通して快いものや、美しいもの、量やバランスの感覚等が身体の中に備わっていきます。その様な感覚が豊に育つかどうかという事が、その子どもの表情や行動、表現に表れてくるのです。同じ「赤い」という言葉でも平板な記号的赤しかイメージしないか、全てを焼きつくすような炎のような赤や、夕日のような赤を思い出すかは、大きなちがひがあります。



年長児の多様なプログラム 年長児(ライオン組)分級例

- ☆ **ねらい** 小学校へ行く前の大事な年令です。だからと言って字を教えたりするのではなく、今の家庭ではなかなか出来なくなってしまう「生活」的なもの等、色々取り入れてます。
- ☆ **特色** 年中中のクラスは担任(2人)がしていますが以下のプログラムは、当園の職員全体で取り組んでいる特別なものです。それゆえ多彩です。

| | |
|--|-------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 編物……(編 機も簡単なものですが子どもが作ります) ● 木工……(のこ、金づち等持ったことない子が、やがてブックラックも作れるようになります) ● 羊毛染、フェルト作り ● むいとり…(ボール紙に穴をあけて、リリアン糸を使って) | <p>昔は家でもやってきましたよね。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ● ガラクタ工作、楽器作り ● 密ろう粘土、ステンドグラス作り ● カレンダー作り、ちぎり絵 | <p>工作</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 体育遊び ● 感覚遊び…(ボディペインティング、どろ遊び) ● わらべ歌遊び ● 登山……(年に1回、六甲山系の山々にチャレンジします。足腰が強くなった2月頃、アイスロードから頂上へ) | <p>いい感覚の体が育ってほしいです。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ● お風呂さん行き (年4回) | <p>けっこう子どもは喜びますね。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ● おやつ作り、みそづくり、梅干作りもホットケーキ、おだんご、クッキー、ゼリー等鉋丁を使って、お好み焼きや焼飯も。 | |



ちびくろ保育園の概要

[創立] 1978年10月1日
[園長] 田中 英雄

施設構造
鉄筋コンクリート3階建て

敷地面積
226.6m² (うち園庭154m²)

延べ床面積 450m²

児童定 数60名

職員数
20名(正規職員13名・他7名)

わがらない事がありましたら、お気軽になさってください。



保育料以外の費用

- ・日本スポーツ振興センター掛金 年 240 円
 - ・布団代(0~3歳) 年 500 円
 - ・陶器食器代 年 500 円
 - ・園外保育の交通費(実費)
- その他詳細は当園までお問い合わせください。